

地元を活かした歩美君の飼育  
～地元の松葉を使ってコスト減とストレス減を目指します～

佐賀県立唐津南高等学校

佐賀県の唐津市にある虹ノ松原では、年間1500トン以上の落ち葉を排出しています。今年度は定期的な清掃活動で落ち葉の有効資源活用に力を入れている本校の「虹ノ松原研究班」と連携し、松葉を使って牛の飼育ができないかと考えました。目標は「コスト軽減と牛のストレス軽減」とし、松葉を使用する部分としては「床」と「餌」に着目しました。

まず床については、地元の造園会社が作っている虹ノ松原の落ち葉を含んだ「100%植物由来発酵堆肥」を無償で提供していただくことで、コストの削減をすることができました。

餌については、まだ給与できていませんが、松葉には様々な健康増進効果が確認されているため、牛のストレス軽減に少しでも近づけるような餌を研究中です。

コスト面はクリアしましたが、牛のストレス部分は観察だけでは検証できません。しかし、地元ならではの牛の飼育でストレス軽減を目標に日々頑張っています。